

ますね。山鹿灯籠なんかもそうですね。

まだ足りぬデザイン の工夫

瓜生田 包装については、意匠登録しているため、改善が簡単に行われない問題があるのです。それにデザインがあり、人吉のケヤキのくり盆にしても、デザインを工夫すれば生地を活かした非常にいいものができるのですが……

長岡 この間、竹製品の訪問商談十人ばかりの業者方達と小倉へ行ったんですが、九州各県、それに大分愛媛宮崎東京島根等各県事ム所がずらりと並んでますね。その事務所の正面がそれぞれ陳列場になっていて、各県とも代表的な産物を非常に効果的に陳列しているんですね。馬渡 うちの陳列場についても、いろいろアイデアをこらしてますが、これはという特色のある品物に乏しくってどうも……

益子 民芸品あたりで熊本は強いもの、例えば長崎のべつ甲とか佐賀の有田焼とか、金目になるようなものがないようにですね。

瓜生田 確かに熊本は手工芸的なものが留守になってるんですね。農林水産省であることに問題があるようです。

長岡 考えてみると細川さんは工芸品の保護政策などやってないんですね。それが現在の禍根になってるんじゃないですか。

長岡 来年のオリンピックに対処して観光なり 物産あつ旋をどうもっていかは、一つの新しい課題じゃないでしょうか。

森山 うちでは今、各国の領事館を回っています非常に喜ばれますね。

瓜生田 なかなかいいやり方ですね。私はね九州が揃ってキャラバン式に回ったかどうかと思っています。観光、物産を一緒にした形で品物は次々に補充しながらね。

益子 面白いですね。その小型を今度小倉でやることになってますが……

北九州を皮切りに 移動商談会

馬渡 まず大型バスに展示して、北九州一帯の大きな企業体の購買部をめぐるわけです。食品をおもに、雑貨類も乗せまして観光案内も兼ねてやるわけですが、今のところ十一月末頃に実施する予定にしています。

瓜生田 やはりそういう具合に切り替えて行かねばいけませんね。映画もできる、いろいろの苦情も聞けるし、観光も含めたPR一切をやれますからね。相当まとまった金も使えると思いますね。

長岡 県で広報車のような専門の見本市用の車をつくらたい。そして全国を回るので。

瓜生田 して小さなものを売るのもよいが畳表とか、お茶とか業者の方にも

すかね。

瓜生田 陶器では水の平焼、小岱焼が変ったものを焼きはじめましたが、焼きものについては案外研究をやってますよ。それから日奈久の干筋提覧ですね。あれがやはり国際見本市で注文が出て、産業館を通して請書まで取ったのがキヤンセルにされてしまった。職人が走り回らないということ。そこで別府にということになったけれども、この干筋提覧は日奈久特自のもので他所ではできないのですよ。だから、竹製品業者がもつと技術の提携などして合って量産の方法を考えて行かねばなりませんね。

産業館あたりの指導の面でも、共同体制、資本提携とか育成の必要があると思いますね。

益子 生産者の消費地視察、あるいは消費地であつ旋に従事するものの生産地視察などということは大切なことだと思いますが……

森山 やはり予算の問題がありますから来年度はひとつ予算措置をお願いしたいですね。

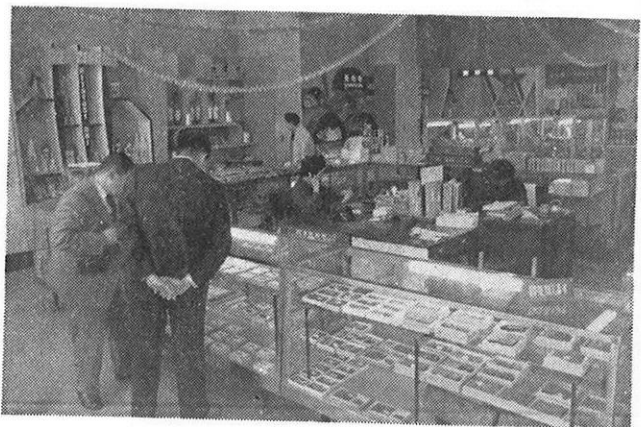
流行語になった 「雨だれ出荷」

長岡 時にみかんは今年はどうなですか。

瓜生田 豊作ですね今年。価格は今のところ量が多いので高いとはいえませ

同乗して賈い各地で商談会を開いたりして商品見本によって引合いをとってくるんですね。そして夜は観光映画を見て貰って、各地のナマの意見を聞いてくるとか、いろんな効果が考えられると思いま

すね。森山 九州各県は非常に協力し合っ



展示即売も活発にやりたい

んが。今年は果樹豊作といわれ、梨、リンゴ、みかん非常な豊作ですね。

益子 粒も大きいですね。

瓜生田 昨年のM級(みかんの大小は2L、規格がつけ)が今年のS級で、一カ月ぐらいい違いますね。みかんについては面白い話があります。五年前、東京で知事出席の上で業者との懇談会がありました。この時、知事が「雨だれ出荷」という言葉を使われたのですが、以来この「雨だれ出荷」という言葉が東京市場で使われ出したのですよ。

やはりさっき大阪からも話が出たように、六、七年前までは個人の商社が幅をきかしており、ほとんどん東京へ送っていました。しかし四、五前から系統出荷が軌道に乗り、今では個人商社のもは選果、級別、ワックス処理、それらの点で太刀打ちできなく非常に相場は落ちています。

革命的なトラック 輸送

益子 荷受け商社の現状は、……

瓜生田 今年は相当ふえまして、川崎、横浜をふくめると十三社があります。今年の計画が一万一千三百トンですかね。

森山 大阪は三社、京都、神戸にそれぞれ一社です。大阪の場合すでにトラック輸送圏内に入ったということですね。トラック輸送ですと十六時間ぐらいい。貨車だと三日かかります。こうなると、みかんはまだしも、そ菜になるとグット鮮度が落ちますからね。今後はトラック輸送に切り替えるべきでしょうね。まさにこれは大きな革命ですね。

馬渡 小倉の場合は果実連の扱いですが販運も扱っています。この点ちよつと具合の悪い面もあるようですが……

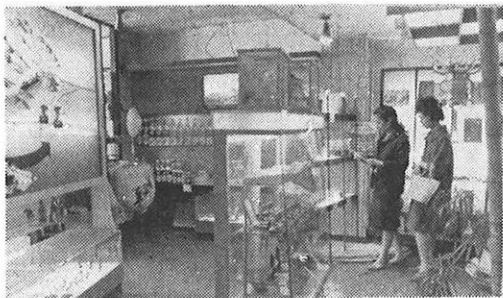
オリンピックを前に 領事館めぐりも

森山 果樹、畜産については、貿易自由化の影響があるかも知れませんが、そ菜についてはまずそういう心配は考えられません。自由化には一番強いね。

馬渡 しかし、この間台湾から玉葱がずいぶん入ってきましたからね。物によっては台湾がこわい。

質への信頼感が生まれるからだという。ところで最近の観光ブームに乗って、北九州からの貸切バスによる団体の熊本観光旅行がふえてきています。物産館でも県内観光地代表や旅館組合代表を交えて、利用者側との観光懇談会を開いているほか、工場、会社の厚生課等をめぐって熊本観光の紹介に力を注いでいる。現在、観光地の人気を探ってみると、まず阿蘇、天草がトップで、人吉、湯の尻という順で、天草ムードが全体に伸びてきたことが注目されている。

毎日物産館を訪れる客は多い。熊本からの農協、生産者団体、町村役場職員、議員さんたちの市場研修の世話、入荷状況の連絡、観光相談、取引商談と絶え間がない。変り種では、熊本からのトラック輸送の運転手が交通事故で入院したから至急来てくれと連絡があり、すぐ飛んで行って退院までの面倒や世話をしたあげたという話もあり、ともかくも物産館の仕事というものは多事多端にわたっているのである。



動き出した、移動商談会

■観光PRにも力こぶ

今回はじめての試みとして、北九州物産館では移動商談会を実施。これは他の物産館に先がけての積極戦法というわけです。大型バス二台に県産品見本と一緒に、物産館側、生産業者代表らが同乗して北九州の主要工場、事業所を巡回し商談会を開くのである。さし当って第一回は、白玉粉、麺類、畳表、海苔、酒類などに重

さらに北九州市場では、農産加工品(白玉粉、麺類、醬油、みそ)の出荷も目立ってきているが、卵の系統出荷は荷受側の好評を得ている。つまり系統出荷だと価格の調整と安定が維持できることと品